

びわ南小学校からの報告

水生生物調査結果

調査場所名 (No.)		難波橋下流100m付近 No.1				高山キャンプ場 No.2				No.3				
月 日 時 刻		6月11日 14時30分				6月22日 11時00分								
天 気		晴れ				曇り								
水 温 (°C)		28.5 °C				18.0 °C								
気 温 (°C)		29.0 °C				25.0 °C								
川 幅 (m)		4.0 m				3.0 m								
河 川 名		姉川				草野川								
生物を採取した場所		全面				全面								
水 深 (cm)		30.0 cm				20.0 cm								
流 速 (cm / s)		5.0 cm/s												
水 の よ う す		指標生物												
I きれい	1	カワゲラ類				○								
	2	ナガレビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類				○								
	3	ヒラタケゲロウ類				●								
	4	ブユ類				○								
	5	ヘビトンボ類				○				○				
	6	カガンボ類												
	7	サワガニ				○				○				
I・II 共通	8	ウズムシ類				○								
	9	2以外のビケラ類				●								
	10	3、14以外のカゲロウ類				○								
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類				○								
	12	ジジミ類												
II・III 共通	13	カワニナ				○								
III よごれている	14	サホコカゲロウ				○								
	15	ヒル類				○								
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミス類												
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のような区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の種類の計 (○+●)	4	4	3	0	7	1	0	0	0	0	0	0
	2	みつかった指標生物のうち一番数の多くあった種類(●)	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	合 計 (1欄+2欄)		5	5	3	0	8	1	0	0	0	0	0	0
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I・II				I							

1 びわ南小学校水生生物調査隊について

本校のみずすまし調査隊は、4年生全員49名で活動しています。1学期の総合的な学習において、学区内の姉川（難波橋下流100m付近）と姉川の上流である草野川を調査し、水環境についての学習を行いました。



2 調査結果について

① 姉川（難波橋下流100m付近） 調査日：6月11日

運動場北側にある姉川（難波橋下流100m付近）に調査に出かけました。気温29度と蒸し暑い日でした。この日は親子活動で、おうちの人と一緒に川の生き物調べをしました。元びわ南小学校の校長をしていただいた八木善勇氏と湖北野鳥センターの植田氏に講師を依頼し、調査の前に水生生物を調査する目的や生き物を上手につかまえるアミやザルの使い方などを教えていただきました。



連日の晴天による渇水のため、川幅は4m、水深30cmほどで水流も0~5cm/sと少ない水の量でしたが、思った以上に多くの水生生物や魚がとれてびっくりしました。

採取した生き物は、その場でグループごとに種類分けしてトレイに分類しました。

採取した生き物は、その場でグループごとに種類分けしてトレイに分類しました。



結果は、以下の通りでした。

- ・一番多くとれたのは、トビケラ類でした。
- ・きれいな水にしかすまないヘビトンボ類、サワガニなどの生き物が多くとれました。
- ・ヨシノポリやアユ、めずらしいヤツメウナギもとれました。

結果を分析すると、総合的に見て、姉川（難波橋下流100m付近）の水は、とてもきれいな水だということがわかりました。



【児童の感想から】

今日は、姉川（なんば橋近く）の水生生物を調べました。ぼくは、おなかの中に赤ちゃんがいるハゼのような生物をつかまえたり、えびもつかまえられてとってもうれしかったです。エビは川の真ん中ではなく、川のはしこの石の下にかくれていたのので、石の下をゴイゴイするとつかまえることができました。それから、姉川には、きれいな水にしかすまない生物がいっぱいとわかりました。なかなか見つからない生物がたくさんいるということは、それだけ水がきれいで、食べ物がいっぱいあるからだともわかりました。



今日は、姉川（なんば橋近く）の水生生物を調べました。一番びっくりしたことは、目がない魚（八目うなぎ）がいたことと、虫やアメリカザリガニがとれたり、めずらしい魚がとれたりしてすごかったことです。それに、お父さんとやると、石の下にくっついている水生生物が3ひきぐらい見つかりました。はんで活動すると4ひき以上はいたと思います。わたしたちの学校の近くに、きれいな川があって、幸せだなと思いました。



② 草野川上流 調査日：6月22日

6月22日の「やまのこ」宿舎では、高山キャンプ場内の草野川上流の生き物調べを行いました。草野川は校区を流れる姉川の上流でもあります。

天候は曇り、気温は25度と高めで大変暑かったものの、水温18度と低く、川に入ると汗がひいて気持ちよかったです。自然に囲まれた中で大きな石や砂利があり、少し深くなっているところや浅くて流れが速いところなど、さまざまな様子が見られました。石をめくると多くの水生生物が簡単に見つかり、びっくりしました。きれいな川にしかない美しい鳴き声が印象的なカジカガエルも見つけることができました。



グループごとに集めた水生生物を持ってキャンプ場にもどり、生き物集計シートと照らし合わせて分類しました。

その結果次のような結果がみえてきました。

- ・トビケラ類、カゲロウ類、カワゲラ類、ヘビトンボなどきれいな水にすむ生き物が、45分間でなんと267匹もとれました。
- ・かげろう類は128匹もとれました。

結果を分析すると草野川上流は予想通り「きれいな水」の川であることがわかりました。



3 まとめ

○水生生物調査は初めてという児童がほとんどで、『水生生物の種類を調べることで、川の水がきれいかどうか分かる』ことに興味を持った児童が多く見られました。

また、1回目の調査は、講師の方から専門的な立場からお話をしていただいたことで、より一層有意義な活動ができました。

○今年も、姉川（難波橋下流100m）を調査し、その後の「やまのこ」合宿で草野川を調査することで、姉川の上流と下流の周辺の環境や生き物、水のきれいさなどを比較することができ、とてもわかりやすかったです。

○12月に行われたびわ地区の活動発表会では、希望した代表児童が、たくさんの方の前で発表しました。学年全体で発表を聞いてアドバイスしたり、聞きやすい話し方を考えたりしたことも含め、代表児童にはよい経験の場となりました。

